



リレーハンスト

集団ハンスト

大飯原発を再稼動するな！と関電本社前で、四月九日から十三日までリレーハンストが行われた。経産省前テントひろばでは、十七日大々的な記者会見が行われ、五月五日正午まで集団ハンストが行われた。

有名日から一労働者市民まで多くの方々がそれぞれの条件に応じて参加。この間に官邸前抗議行動や集会デモなど連日連夜

地元福井で、東京で、関西で、全国で大飯原発再稼動阻止の闘いがうねりとなり

つどもの日 すべてでの原発が止まった

南労会支部執行委員 大野ひろ子

の闘いが展開されてきた。

大飯原発 地元では

九日には大飯で原発に向かう一本道のところに「原発再稼働反対監視テント」が建てられ最大時は九張りまでに。



十四日には枝野経産相の

福井県庁訪問弾劾の闘いが行われた。(長澤編集委員が参加)あくまで再稼動を狙う政府と町長は

二六日、住民説明会を戒厳体制の中で行ったが、発言した住民の大半が不安や反対の意志を表明されたという。

二百人で関電包囲

四月二十一日「とめよう原発!-関西ネットワーク」の呼びかけ、四十一団体の賛同で集会とデモが行われた。デモは関電

近くで解散、その後、約

二百名のヒューマンチェインで関電を包囲した。

四月二六日はチエルノブイリ事故から二六年。ベラルーシから招いた二人の女性も参加され関電交渉。再稼動するなの申入れに関電は聞き直った。

廃炉までの闘い

全国津々浦々の闘いが関電・政府・財界を追いつめ迎えた五月五日。全原発廃炉までの闘いの始まり。電力不足のデモ、脅しに負けずガンバロー

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!